

# 令和3年度 第4回五泉市総合計画審議会 議事要約

日 時：令和3年11月16日（火） 9：30～10：45  
場 所：ラポルテ五泉 多目的室1  
出席者：委員20名  
欠席者：樋口哲夫 副会長、阿部律夫 委員、横野恒明 委員、松尾タカ子 委員、  
澁谷隆 委員、金子義伸 委員（6名）

## 1. 開会（事務局）

第4回五泉市総合計画審議会を開会する。

## 2. 会長あいさつ

本日が最後の審議会となる。委員のみなさんからいただいた意見を踏まえて答申案ができていく。内容を審議していただいて答申書を完成させたい。会議がスムーズに進行できるようよろしくをお願いしたい。

## 3. 本日の説明

審議の進め方について事務局より説明。

これまでの審議会にて意見をいただいた件について回答。

### ■第2章 計画における財政計画

税徴収率の県内他市との比較は可能か。

財政推計の歳入と歳出の金額が同額となっているが、どのような考え方か。

○事務局

税徴収率は、順位：17位 平均：99.0% であった。

当初予算をベースに推計しており、歳入と歳出が同額となっているとのことであった。

### ■テーマ③：施策No.8

棒グラフの数値と成果指標の数値が一致していない。

成果指標からシルバー人材センターの会員数を外してお茶の間サロン参加者数を入れてもらいたい。

○事務局

成果指標の数値に合わせて修正する。

お茶の間サロンの運営は施策 No.17 に該当するため、指標は変更しない。

### ■テーマ⑤：施策No.14

禁煙対策の推進について、「未成年者」という表現は、民法改正により 18 歳未満を示すこととなるため、「20 歳未満」と記載を変えるべき。

○事務局  
修正する。

■テーマ⑤：施策No.17

グラフについて、最終年が令和 7 年度となっている。成果指標の目標年と記載を合わせてほしい。

成果指標にお茶の間サロン参加者数を入れてもらいたい。

○事務局

成果指標の目標値を修正する。

参加者の加齢、リーダーの後継者不足からお茶の間サロン参加者が減少傾向にある。今後は持続可能な憩いの場の充実を図っていく必要があると考え、いきいきシニアプラザむらまつ利用者数を成果指標とする。

■テーマ⑤：施策No.19

現状と課題に記載のある「自立相談支援機関」の後ろに「(五泉市くらしの支援センター)」を加えてほしい。

○事務局  
修正する。

■テーマ⑫：施策No.43

都市公園のグラフから日枝公園が漏れている。

○事務局

修正する。遊具施設数：4、更新済数：0 となる。

■テーマ⑫：施策No.44

集会所の新規の建設や備品整備には支援があると思うが、維持管理についても支援してほしい。

○事務局

前回補助から 10 年経過等の要件があるが、200 万円以上の経費を要する一部改築等についても補助を行っている。

■テーマ⑬：施策No.49

「市民 1,000 人あたりの職員数」は他市との比較の面でも必要な成果指標ではないか。

○事務局

主担当課にて検討する。

[意見]

■テーマ⑫：施策No.44

●湯浅善章委員

成果指標「市民活動等の年間参加割合」はコロナ禍による異常値ではないか。

○事務局

コロナ禍により活動に影響があった団体もあったと思われるが、5 年前からの数値の減少が一概にコロナ禍の影響といえるものではないと判断した。市民の活動をいかに推進していくが必要になると考えており、異常値としては表示しないこととしたい。

## 4. 議事

議事 (1) パブリックコメントの結果について

○事務局

意見は提出されなかった。

[意見]

●梅田恒栄委員

パブリックコメントの募集方法について、従来の方法ではなかなか意見が出にくいのではないかと推測される。情報の流し方など方法を工夫してはどうか。

●加藤恵子委員

意見募集の資料がカウンター等に置いてあったとしてもほとんどの方が気づかないと思う。例えば町内の回覧板はあまり重要でないことも多い。意見募集のときに活用することもできるのではないか。

○事務局

今後デジタル化も進むなか、広報のありかたを検討していかなければならないと思う。

議事 (2) 審議 (答申 (案) について)

[意見]

なし

## 5. 市長への答申

○伊藤勝美市長

五泉市総合計画審議会の答申にあたり、一言お礼のあいさつをさせていただきます。

今ほど、川口会長より答申を賜りましたが、委員の皆様方には、10月22日の第1回目の審議会より本日までの間、ご熱心にご審議をいただき、大変感謝申し上げます。

本日、賜りました答申は、委員の皆様方の五泉市に対する想いが凝縮されている答申であり、あらためて身の引き締まる思いであります。

当市には、地域のそれぞれが大切に培ってきた個性があり、そうした地域の個性をこれからのまちづくりに存分に生かし、これまで以上に高めていくことで、調和のとれた魅力あふれる五泉市として発展していくものと考えております。

第2次五泉市総合計画 後期基本計画の推進にあたり、将来像である『ずっと五泉。～次の一歩を、ともに未来へ～』の実現に向けて、市民の皆様が「住んでよかった 住みたいまち ごせん」と感じてもらえるよう、まちづくりに取り組んでいく所存であります。

本日を持ちまして、予定しておりました審議会は、全て終了となりますが、より良いまちづくりのために委員の皆様方には、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

●川口幸平委員

全4回の審議会が以上で終了することとなった。委員のみなさんのご協力で非常にスムーズに進行されたと感じている。また、当局の説明も確実でわかりやすかった。審議会のメンバー

がしっかり理解をしていくことが重要と感じている。この審議会が次につながっていけばよいと思う。この答申がただの答申で終わらないように、大事なことは後回しにせずゆっくりでも進めてもらいたい。

## 6. 閉会

以上